



社会福祉法人武蔵野会 さくら学園
〒412-0045 静岡県御殿場市川島田1976
TEL 0550-89-0789 FAX 0550-89-8984
Email m.sakura@sakura1970.jp

令和8年1月26日発行

さくら さくら

第168号



地域と共に歩み、より豊かな暮らしを支える

新年あけましておめでとうございます。日頃よりさくら学園の運営に対し、ご家族の皆様、そして地域の皆様から多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、当施設では「地域住民の皆様との交流」を重点課題として取り組んでまいりました。特に次世代を担う中学生の職場体験実習や教育実習生の受け入れを積極的に行いました。生徒たちが利用者様と触れ合い、真剣に学ぶ姿は私たち職員にとっても大きな刺激となり、施設内に新しい風を吹き込んでくれました。また、利用者様の生活に彩りを添える活動として大手衣料販売店により販売会を2回、さらにはミニストップ様のご協力による月1回のデザート販売も継続しています。「自分で選んで買い物を楽しむ」というひとは、利用者様にとって大きな喜びとなり、たくさんの笑顔が溢れました。運営面では増え続ける通院業務への対応として「訪問診療」を導入致しました。これは、利用者様の移動負担を軽減し、より安定した健康管理体制をと整えることを目的としていますが、今後も診療科を増やしていければと考えています。本年度は、これらの取り組みをさらに一歩進め、地域との絆をより強固なものにしていきたいと考えています。その第一段として、御殿場市社会福祉協議会様のご依頼を受け、近隣小学校での「車椅子操作体験」に出前研修として職員が伺うこととなりました。私たちが培ってきた専門知識を地域の子供たちに直接伝える機会を頂けることは、大変光栄なことです。今後も、施設の中だけに留まらず、こちらから積極的に地域へ出向き、昨年度以上に交流を深めてまいります。利用者様が住み慣れたこの地で、豊かに暮らしていけるよう、職員一同、情熱を持って取り組んでいく所存です。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

施設長 小林 俊夫

年末に皆さんでついたお餅を鏡餅にして飾りました ⇒



冬期 帰省バス



12月29日にさくら学園を出発し新宿都庁までバス帰省をしました。車内では、皆さんご家族と会えることを心待ちにしている様子が見られました。1月5日には、都庁にお迎えに行き、渋滞もなくスムーズに帰園することができ、皆さんご自宅で過ごした様子を沢山お話ししてくださいました。ご家族の皆様、寒い中、都庁までの送迎をしていただき、ありがとうございました。また、短い時間でしたが、職員がご家族と直接お話しする機会を持つことができ、利用者さんの生活状況やご家族の思いを共有することが出来ました。

(担当 近藤 昌子)



御殿場市 災害ボランティア立ち上げ訓練



1月16日御殿場市社会福祉協議会主催の御殿場市災害ボランティア立ち上げ訓練に参加してきました。御殿場市で大規模災害が発生したさい、行政及び災害ボランティアコーディネーターの協同により運営される「災害ボランティア本部」が効率的かつ効果的に運営される事が求められるとの事です。今回はボランティア役での参加でしたので実際には社会福祉協議会の方や災害ボランティアコーディネーターの方のお手伝いという形でしたが、さくら学園においてもいつ大災害が起こるか分かりません。普段からの訓練や災害時の備品等のチェックの大切さを改めて学ぶ事が出来ました。

(担当 安斎 祥一)



イベント献立

さくら学園では毎月行事食を提供しています。11月寿司ランチ、12月クリスマス献立、1月1日（元旦）の昼食にはしらすご飯、お雑煮風、おせち盛り合わせ、松風焼き、水ようかんを提供し、日本のお正月を感じられる和食の献立を提供しました。「美味しかったよ!」「次はいつ?」「次は何がでるの?」という声を利用者の皆様からいただいています。行事食を毎月楽しみにしてくださっている方が多く嬉しいです。年に2度実施している嗜好調査も反映させつつ、今年も利用者の皆様に喜んでいただける行事食を考案してまいります。（担当 黒子 梨奈）



しまむら訪問販売

11月27日しまむらによる訪問販売が行われました。しまむら訪問販売は、夏と冬の年2回実施しており、今回も多く利用者の皆様が参加されました。当日は衣類や日用品などが並び、色やデザインをじっくり見比べながら、楽しそうに商品を選ばれていました。「どれにしようかな」と悩む姿も見られ、買い物の時間は終始和やかな雰囲気にも包まれていました。今後も地域との交流を大切にし、利用者の皆様が安心して楽しめる機会を提供していきたいと考えています。



ミニストップ 訪問販売



1月20日（火）コンビニのミニストップが来園し、施設内で訪問販売を行いました。利用者の皆さんは、職員と一緒に商品を選んだり、飲料やスイーツなどの商品を選んだり、笑顔でお買い物を楽しみ、和やかな時間となりました。これからも日々の楽しみにつながる取り組みを続けていきます。（担当 根本 知恵）



餅つき大会



12月25日（木）毎年恒例の餅つきを行いました。1号館と3号館に分かれての開催になりましたが、支援員の掛け声とともに皆さん力強く餅をついていました。新年を迎えるため、ついたお餅で鏡もちを作りました。手作りの温かみと、どこか懐かしい風情が感じられる素敵な鏡もちが完成しました。そして、おやつにはお汁粉を頂きました。（担当 松本 淳史）



クリスマスコンサート



12月20日(土)御殿場市役所軽音クラブによる年末恒例ライブが多目的ホールで開催されました。会場は熱気に包まれ、利用者さんたちは、思い思いに演奏を楽しんでいました。迫力ある演奏に合わせ、手拍子でリズムをとる方、マイク握って熱唱する方、前へ出て手を取り合って踊る方など、一体感に溢れていました。曲が進むにつれてボルテージは最高潮に。懐メロやクリスマスメドレーが披露されると、会場全体がまるでダンスホールのように盛り上がりました。最後にはアンコールの大合唱が響きわたり、大盛況の内に幕を閉じました。

(担当 斎藤 寛志)



保土沢文化祭



11月9日(日)地域の文化祭に参加してきました。地元の幼稚園や保育園、福祉関連施設など各団体が日頃の作品を持ち寄り展示、また組内の役員が模擬店など出展し盛り上がっていました。今年は文化祭開始から数十年で初めての雨天での実施だったとの事ですが、来場者数は例年と変わらなかったとの事でした。さくら学園のブースにも多くの方が来られ利用者さんの作品を購入していただきました。

(担当 守屋 武治)



社会福祉協議会 表彰



1号館3階の杉野職員と3号館3階の杉山職員が長年の功績が認められ、全国社会福祉協議会より表彰されました。

また、1号館2階の守屋職員と3号館2階安斎係長が、静岡県社会福祉協議会より15年以上施設に貢献として、表彰を頂きました。これからも、利用者様が楽しく、安全に生活できるように支援を行っていきます。



編集後記

通勤で使用している愛車の走行距離が、ついに20万キロを超えました。「まだまだ走れるぞ」と言わんばかりに調子が良いのがちょっと誇らしいです。もちろん、ここまで走れたのは、定期的なメンテナンスのおかげ。最近では部品を交換するたびに、「これであと何キロいけるかな」と整備に力を入れています。次の目標は25万キロ。これからも安全運転で、ゆっくり距離を重ねていけたらと思います。まだまだ一緒に通勤してもらいます。

(S.O)

自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ

武蔵野会後援会ご支援のお願い

自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよの理念のもとに、社会福祉法人武蔵野会は多くの事業を運営しています。法人が各施設の運営並びに福祉の推進ができるよう物心両面より支える組織として武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力・ご支援をお願い申し上げます。

武蔵野会後援会事務所

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3

TEL 042(626)9772



さくら学園
Instagram



入退所者 職員採用
令和7年7月～令和8年1月

【 お悔み 】

櫻井 健三さん (1号館2階)
松沼 明さん (1号館2階)
伊勢 純一さん (1号館2階)
大江 克子さん (1号館3階)
須崎 茂男さん (3号館2階)
森塚 晴美さん (3号館3階)

ご冥福をお祈り申し上げます。

【 新入所者 】

小島 光 さん (1号館2階)
酒井 一郎さん (1号館2階)
伊藤 尚武さん (1号館2階)
橋本 智子さん (1号館3階)
山本 永遠さん (1号館3階)
浦沢 綾子さん (1号館3階)
岡村 晋一さん (3号館2階)
白井 純子さん (3号館3階)
浅沼 純子さん (3号館3階)
能登谷加代さん (3号館3階)
畑佐 和恵さん (3号館3階)

【 職員採用 】

菅沼 節子 (食事介助)
前田 由佳 (3号館3階)
小島 里紗 (看護師)

よろしくお願いします！